

いせき くにさぶろう  
井関 邦三郎(1899~1970)



**総合農機メーカーの創立者。**北宇和郡三間村(現、宇和島市)出身。郷里で井関農具製作所を立ち上げて大野式除草機の製造・販売を始めていたが、熊本の共進会で見た岩田式<sup>いわだ</sup>はぎ機と、高知の山本式自動選別機とを組み合わせた高性能の全自動<sup>ぜんどう</sup>初すり機の開発に成功した。大正15(1926)年、開発した全自動初すり機の製造のため、松山に工場を移して井関農具商会と改称し、井関農機の基礎を作った。昭和20(1945)年の松山大空襲によって本社と工場は灰燼と化した<sup>かいじん</sup>が、戦後の農業機械化ブームに乗って、耕耘機、コンバイン、トラクター、田植機を次々に開発して井関農機を、我が国を代表する総合農機メーカーに育て上げた。また、愛媛県工業倶楽部会長、松山商工会議所会頭、愛媛県経営者協会会長、済美学園理事長などを歴任し、地域の発展に貢献した。その他、萬翠荘の菊花展やバラ展、囲碁

の普及でも有名である。

## 略歴

明治32(1899)年7月2日	北宇和郡三間村 <sup>むつだ</sup> 務田の農家の次男として生まれる。
大正8(1919)年	郷里において、松山の <sup>おの</sup> 大野商店の除草機の販売を始める。
大正13(1924)年7月	郷里において、大野式除草機などの製造を開始し、井関農具製作所と称する。
大正15(1926)年8月	松山市新玉町(現、松山市湊町)に工場を移転し、井関農具商会と改称 高性能の全自動初すり機の製造・販売を始める。
昭和6(1931)年6月	株式会社に改組し、株式会社井関製作所と改称
昭和8(1933)年3月	大阪市にあった吉田工業部と共同出資して、大阪市東成区大今里町に東洋農機合名 会社(後に株式会社となる)を創立。発動機や初すり機の製造・販売を行う。
昭和11(1936)年3月	東洋農機株式会社を解散し、井関農機株式会社を創立 キセキ式初すり機などの製造・販売を始める。
昭和23(1948)年10月	松山商工会議所会頭に就任
昭和27(1952)年10月	愛媛県工業倶楽部会長に就任
昭和28(1953)年9月	愛媛県経営者協会会長に就任
昭和34(1959)年11月	済美学園理事長に就任
昭和40(1965)年9月	訪中農業機械工業代表団団長として、中華人民共和国を訪れる。
昭和45(1970)年10月11日	71歳で永眠

(写真提供：井関農機株式会社)

### 〈関連図書〉

- ・秋永芳郎『井関邦三郎伝』井関邦三郎伝刊行委員会 1972年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- ・井関農機株式会社社史編纂委員会『井関農機60年史』井関農機株式会社 1989年
- ・愛媛新聞社情報出版局出版部『愛媛農業の先達たち～井邦賞20年の記録～』井邦賞を運営する会 1992年

〈ゆかりのある場所〉…(P285, 86)

〈関連施設〉…井関邦三郎記念館

〒798-1114 愛媛県宇和島市三間町務田180番地第1 TEL: 0895-58-1133